

ブネネとぐんかんどり

ミクロネシア、ヤップ島

昔むかし、ヤップ島のある村に、ブネネという、たいへん美しい娘がいました。

ブネネは、海が大好きで、一日じゅう、海辺を歩いては、空や鳥や海をながめていました。お母さんは、

「あの子はおかしな子だよ。夢の中で生きているんだ」と思っていました。

あるとき、お母さんが、ブネネにいました。

「おまえはもう一人前の美しい娘だ。おまえと結婚したがっている男がたくさんいるんだよ。だれか好きな人はいないのかい」

「いいえ、お母さん。だれもいやしません。わたしは、この地上から、はるか高い空へ飛んで行ってしまいたい」

「ばかなことをいうんじゃないよ。どうしておまえが空を飛べるんだい。いいかげんそんな考えはよしにして、結婚のことを考えなさい。そして、子どもを作って幸せになるんです」

お母さんにいわれても、ブネネの考えは変わりませんでした。

村の人たちも、みんなブネネのことを心配しました。

「ブネネはいつたいていどうするつもりなんだろう」

「ブネネはいつたいていどうなるんだろう」

島の小鳥たちが聞きつけて、ブネネのところにやって来ました。小鳥たちは、ブネネの周りを飛び回りながら歌いました。

ブネネ、ブネネ、おいで

小鳥にならないかい

わたしたちといっしょに

幸せになろうよ

ブネネは首を横にふって答えました。

「おまえたちは枝から枝へ飛びうつるだけで、高く飛べないじゃないの。一日じゅう、巢のことと卵のことしか考えない。おまえたちは地面にしばらくはいる。わたしが行きたいのは、あの高い空よ」

ある日のこと、ブネネがいつものように海辺を歩いていると、鋭い目と大きな黒いつばさを持ったぐんかんどりが飛んできました。ぐんかんどりは、ブネネの頭の上を飛びながら歌いました。

ブネネよ、ブネネ、ホ、ホ、ホ！

あんたはいつまで地上にいるつもりだね

わしは、高く高く飛んでいくよ

わしといっしょに来ないかね

ブネネよ、ブネネ、ホ、ホ、ホ！

ブネネは空を見上げてさげばしました。

「待って！鳥さん、ちよつと待って！いま、お母さんに聞いてくるから」

ブネネはお母さんの所に走っていきました。

「だめよ、行っちゃだめ！ぐんかんどりは恐ろしい鳥だよ。だれも見ることができないくらい高い所を飛んで、何日も何日も下りてこないんだよ。そして、風を飲んだり食べたりして暮らしてるんだよ」

「でも、わたしは行くの。行きたいの！」

ブネネは、そうさげぶと、海辺に走ってもどり、待っていたぐんかんどりの背中に飛び乗りました。ぐんかんどりは、高く高く舞い上がりました。

ブネネが見下ろすと、真下で、お母さんが家の前に立って両腕を空に向かって差しだしていました。けれども、その声は、もう、ブネネにはとどきませんでした。

ぐんかんどりは、どんどん高く上って行きました。雲がすぐそばを矢のように流れていきます。何とすばらしい世界なんでしょう。ヤップ島はもう豆粒のようになって、やがて消えてしまいました。あとは、空、空、空しかありません。それでも、ぐんかんどりは、上へ上へと飛び続けました。

一日飛び続け、夜も飛び続けて朝になりました。

「鳥さん、のどがかわいちゃった。おなかもペコペコよ」

「ブネネ、口を開けて風を食べるんだ」

ブネネが口を開けると、しめった冷たい風がさつとのどの奥に流れこみ、少しはおなかがかふくれたような気がしました。

五日と五晩、ぐんかんどりは、上り続けました。

「空のてっぺんまで行くつもりなのかしら」と、ブネネは思いました。そして、そのとき、村のおじいさんの話を思い出しました。ぐんかんどりには巣がなく、空のてっぺんまで飛びあがってそこで卵を産むのです。卵はそこから落ちつづけ、何日も何日も落ちつづけ、海に落ちるまでにひなにかえって、飛び去ってしまうのです。

ブネネは、もういだいぶ弱っていました。もう死ぬのではないかと思いました。

「ぐんかんどりさん、お願いです。わたしを地上に戻して！」

すると、ぐんかんどりは、急降下し始めました。みるみるうちに、はるか下に白い雲が見えだし、やがて海が見え、ヤップ島が見えました。ぐんかんどりは、もと来た海辺にブネネを下ろすと、また羽を広げて飛び去りました。

お母さんが、転げるようにして走ってきました。

「ブネネ、ブネネ、よく帰って来てくれたね」

お母さんは、ブネネを抱きあげて、家に運びました。水を飲ませ、タロイモを食べさせました。けれども、ブネネは、そのまま死んでしまいました。

ヤップ島には、小さな鳥がいます。その鳥は、高く飛ぼうとしても飛べません。島の人たちは、その鳥にブネネという名前をつけました。今でもその鳥は、ブネネと呼ばれています。

おしまい

村上郁再話

資料『ミクロネシアの民話』秋野癸巨矢著／太平出版社